#atarimaeni CUP
サッカーができる当たり前に、ありがとう！

準決勝 第2試合
MATCH DAY PROGRAM

1.21(木) 13:30 kickoff

全日本大学サッカー連盟公式チャンネルで生配信！

関東地区第９代表

東 海 大 学

堅守速攻、チーム一丸で歴史的下克上を

関東地区第６代表

順天堂大学

堀池体制6年目、悲願の全国制覇へ

2020年度神奈川県大学サッカーリーグ

1 位 6 勝 0 分 0 敗

42 得点 無失点

2020年度 第53回関東大学サッカー大会
(関東リーグ昇格決定戦)

Bグループ		昇格決定戦
1節 vs.尚美学園大学	8－1	vs.國學院大學 1－0
2節 vs.東京学芸大学	1－3	2021年度
3節 vs.作新学院大学	2－1	関東2部リーグへ昇格

『「アミノバイタル®」カップ』2020
第9回関東大学サッカートーナメント大会

5 位
- 1回戦 vs.明治大学 2－0
- 2回戦 vs. 青山学院大学 1－0
- 3回戦 vs. 日本大学 1－3
- 順位決定戦vs. 桐蔭横浜大学 4－2
- 順位決定戦 vs. 立正大学 2－1

『「アミノバイタル®」カップ』の
結果により出場権獲得

1回戦 vs 鹿屋体育大学

3－1

2番 面矢
13番 坂本
8番 砂金

試合は序盤から鹿体大がボールを支配する展開に。しかし東海大は粘り強い守備で、チャンスを与えない。17分には10番武井成豪がドリブルを仕掛けてPKを獲得。これを2番面矢行斗が冷静に決め、東海大先制する。続く33分には13番坂本翔のシュートが相手に当たり、コースが変わって追加点。2-0で東海大がリードし、試合を折り返した。後半は両者チャンスをものにできない中、終了間際の90+3分に24番山田泰雅が相手ボールをカット、パスを受けた8番砂金大輝が決めて3点目。90+4分に鹿体大に1点を返されるも、安定した試合運び見せた東海大が3-1で勝利し、2回戦進出を決めた。

2回戦 vs 明治大学

1－1 PK) 4－2

3番 佐藤

試合は開始から明大のペースとなったが、東海大もハイプレスで攻撃を阻止。しかし28分、クロスのこぼれ球を10番小柏剛に決められ、明大に先制を許してしまう。しかし後半は、東海大がセットプレーからゴールに迫り、83分には遠目からのフリーキックを4番米澤哲哉が折り返し、それに反応した3番佐藤颯人がゴールを決めて同点に追いつく。延長戦の終了間際、東海大はGKの22番佐藤史騎を投入。この采配が的中し、PK戦では佐藤が明大の3人目のキックをストップ。4人全員がPKに成功した東海大は、『「アミノバイタル®」カップ』に続き関東1部王者、明大を撃破して3回戦に駒を進めた。

3回戦 vs 日本大学

3－2

18番 藤井
11番 杉山
24番 山田

立ち上がりから東海大ペースで進み、24分には6番丸山智弘のクロスに飛び込んだ、18番藤井一志が頭で合わせて東海大が先制する。続く30分には、8番砂金大輝のボール奪取から中盤でパスを繋ぎ、11番杉山祐輝が左足を振り抜き追加点。後半は日大が攻勢に出る。48分、後方からのロングパスを起点に日大が1点を返すが、東海大も57分、砂金が上げたクロスを24番山田泰雅が頭で押し込んで再びリードを2点に広げる。82分にはフリーキックの流れから失点し、再び1点差に詰められるものの、猛攻を耐え凌いで、勝利。『「アミノバイタル®」カップ』のリベンジを果たし、準決勝への切符を手にした。

vs 桐蔭横浜大学 3回戦

1－0

26番 新関

関東1部リーグ同士の対戦は、立ち上がりから一進一退の攻防が続いた。順大は15番長倉幹樹や18番大森真吾が攻撃を牽引し、33分にコーナーキックを獲得。7番杉山直宏のキックに、相手選手に競り勝った26番新関成弥がヘディングシュートを叩き込む。押され気味だった順大が少ないチャンスをものにして先制する。後半に入ると、62分に桐蔭大の選手が2回目の警告により退場。10人になった桐蔭大は長身のFWを投入し、ロングボールからの攻撃を仕掛ける。だが順大も粘り強く守り切って試合終了。セットプレーから取った1点を死守した順大が、西が丘での準決勝へと駒を進めた。

vs 四国学院大学 2回戦

2－2 PK) 4－2

16番 小林(里)
24番 小林(夏)

開始早々の2分に四学大にサイドを崩され、先制を許した順大。しかし30分には、16番小林里駆がペナルティーエリア内での巧みなドリブルからPKを獲得。自ら冷静に決めて同点に追いつく。喜んだのもつかの間、後半早々の49分には四学大に再びリードを許す苦しい展開に。それでも後半終了間際の90+1分、コーナーキックのこぼれ球を、24番小林夏生が身体ごとゴールに押し込み再び同点に。試合は延長戦でも決着がつかず、PK戦に突入。ここで輝きを放ったのはGKの佐藤久弥。四学大2人目、3人目のキックを完璧な読みでストップ。順大は最後のキッカー、7番杉山直宏が冷静に決めて試合終了。順大が激戦を制した。

vs 東海学園大学 1回戦

3－0

18番 大森
オウンゴール
15番 長倉

前半は互いに攻めあぐねる展開となり、両チームなかなかシュートまで持ち込むことができない。しかし、後半は開始から順大が東園大を押し込む形に。60分、前線でパスをつなぎ、23番白井海斗の浮き球パスに反応した18番大森真吾がワンタッチでゴールを決め、順大が先制点をあげる。さらに63分、25番後藤裕二のクロスが相手に当たってゴールへ。オウンゴールで追加点を獲得する。89分には、4番寺山翼の鋭い縦パスから、15番長倉幹樹が鮮やかなループシュートを決めて3-0に。終わってみれば危なげない試合運びで順大が快勝し、2回戦に進出した。

JR東日本カップ2020
関東大学サッカーリーグ戦 1部

3 位 12 勝 2 分 8 敗

38 得点 1部リーグ6位

34 失点 1部リーグ6位タイ
※失点数の少ない順として

大森真吾	6ゴール (1部リーグ13位タイ)
杉山直宏	5ゴール
白井海斗	5ゴール
杉山直宏	7アシスト (1部リーグ2位タイ)

『「アミノバイタル®」カップ』2020
第9回関東大学サッカートーナメント大会

1回戦敗退

vs.明海大学 1－2

関東1部リーグの結果により、出場権獲得

1	3年	GK	宮崎	浩太朗	大宮Y
2	4年	DF	面矢	行斗	東海大学付属仰星高校 →栃木内定
3	4年	DF	佐藤	颯人	東海大学付属相模高校
4	4年	DF	米澤	哲哉	湘南工科大学附属高校
5	3年	DF	水越	陽也	東海大学付属相模高校
6	4年	MF	丸山	智弘	岡山県作陽高校
7	3年	MF	本多	翔太郎	東海大学付属高輪台高校
8	4年	FW	砂金	大輝	暁星国際高校
9	3年	MF	鈴木	大智	東海大学菅生高校
10	4年	FW	武井	成豪	東海大学付属高輪台高校
11	2年	FW	杉山	祐輝	東邦高校
12	4年	GK	阿部	輝	仙台Y
13	2年	MF	坂本	翔	清水東高校
14	2年	DF	内田	航太郎	矢板中央高校
15	2年	MF	堤	太陽	東海大学付属福岡高校
16	4年	MF	大屋	祥吾	東海大学付属相模高校
17	2年	MF	西山	拓実	岡山県作陽高校
18	1年	MF	藤井	一志	東海大学付属高輪台高校
19	3年	MF	湯江	俊太	東海大学菅生高校
20	3年	DF	小林	陸玖	東海大学付属高輪台高校
21	1年	DF	鈴木	颯太	東海大学付属高輪台高校
22	1年	GK	佐藤	史騎	青森山田高校
23	3年	FW	鈴木	朝日	山形Y
24	3年	FW	山田	泰雅	厚木北高校
25	3年	DF	蛯谷	空良	広島県瀬戸内高校
26	4年	DF	神里	祐哉	東海大学付属福岡高校
27	2年	FW	田北	昂生	東海大学付属浦安高校
28	1年	FW	荒川	泰司	日本航空高校
29	2年	FW	高田	悠	東海大学付属福岡高校
30	4年	GK	森	潤一	東海大学付属相模高校
31	1年	MF	宮野	流斗	矢板中央高校
32	3年	GK	木村	拓樹	高崎健康福祉大学高崎高校
33	1年	MF	波多野	晟愛	正智深谷高校

砂金大輝(8番)

暁星国際高校出身の4年生。
前線から果敢なプレスでボールを奪い、ショートカウンターの起点となる、東海大サッカーを体現できるFW。
初戦では途中出場ながら勝負を決める3点目を決め、3回戦の日大との試合では全ゴールに絡む活躍で、勝利に大きく貢献した。

米澤哲哉(4番)

湘南工科大学附属高校出身の4年生。
空中戦での競り合いに絶対の自信を持ち、
試合を通してチームを鼓舞し続ける、頼れる主将。
セットプレーでは、得点を期待させる打点の高いヘディングで今大会でもチームを勝利に導く。
2回戦の明大との試合では、終了間際の
彼のヘディングが起点となり、貴重な同点弾をたぐり寄せた。

主将 米澤哲哉 コメント

～これまでの戦いを振り返って～

ストロングポイントである走力を活かし、前線からのハイプレスやゴール前での体を張ったプレーで、攻守両面において全員がハードワークできていると思います。また、「絶対に勝つ」という強い思いをピッチで表現し、最後までひたむきに泥臭くプレーする。そのことが結果に結びついていると思います。

～準決勝への意気込み～

「日本一」を達成するべく、これまでの3試合と同じように全員がハードワークをしたいと思います。ひたむきに泥臭く、魂のこもったプレーをピッチで表現し、チーム一丸となって必ず決勝戦への切符を掴み取ります。画面越しではありますが、ご声援のほど、よろしくお願いいします。

予想フォーメーション

今大会３回戦までのデータ

得点	失点	シュート数
7	4	28
平均2.3	平均1.3	平均9.3

直近の対戦成績

『「アミノバイタル®」カップ』2018
第7回関東大学サッカートーナメント大会
2回戦

1－0

予想フォーメーション

今大会３回戦までのデータ

得点	失点	シュート数
6	2	33
平均2	平均0.7	平均11

決勝戦

この試合の勝者 × 法大vs早大の勝者

1.23(土) 13:00 BSテレビ朝日 AbemaTV で生中継！

杉山直宏(7番)

熊本県立大津高校出身の4年生。
来期よりロアッソ熊本に加入が内定している。
精度の高い左足が特徴で、リーグ戦では全22試合に出場。リーグ2位タイとなる7アシストを記録した。
今大会では主に左サイドバックとして出場し、オーバーラップやコーナーキックから幾度となく決定機を演出。
3回戦の桐蔭大戦ではコーナーキックから26番新関成弥の決勝点をアシストした。

大森真吾(18番)

東福岡高校出身の2年生。
U-19日本代表候補に選出された逸材。
1年生の時から2トップの一角として、
コンスタントに試合に出場し、
今季は順大の攻撃陣を牽引する存在に。
リーグ戦ではチームトップの6ゴールをマークし、
順大3位躍進のキーパーソンとなった。
持ち前の技術とフィジカルで順大を日本一へ導けるか。

主将 三國スティビアエブス コメント

～これまでの戦いを振り返って～

1試合目、2試合目では立ち上がりに問題があり、順天堂らしいサッカーをすることができませんでした。しかし、一人ひとりの想いが結果に結びついたと思います。桐蔭大との試合では3試合目ということもあり、疲労が見えていましたがピッチに立った選手が100%の力を発揮し、結果がついてきたと思います。

～準決勝への意気込み～

90分間を通して順天堂らしい、東海大に勢いを与えないサッカーをしたいと思います。2年前『「アミノバイタル®」カップ』で東海大に敗れているので、次こそ勝てるように部員全員で準備していきたいです。ご声援よろしくお願いいします。

1	4年	GK	佐藤 久弥	東京V・Y →東京V内定
2	2年	DF	山崎 大地	広島Y
3	4年	DF	三國 スティビアエブス	青森山田高校 →水戸内定
4	2年	MF	寺山 翼	FC東京U-18
5	4年	MF	鬼島 和希	柏U-18
6	2年	MF	安島 樹	大宮Y
7	4年	MF	杉山 直宏	熊本県立大津高校 →熊本内定
8	4年	MF	山口 達也	興國高校
9	4年	DF	上野 瑶介	JFAアカデミー
10	4年	MF	大谷 京平	柏U-18
11	2年	FW	塩浜 遼	静岡学園高校
12	4年	DF	望月 陸	清水Y
13	4年	DF	尾崎 駿大	静岡学園高校
14	4年	MF	津島 孝至	磐田U-18
15	3年	MF	長倉 幹樹	浦和Y
16	1年	FW	小林 里駆	FC東京U-18
17	1年	MF	樋口 堅大	熊本県立大津高校
18	2年	FW	大森 真吾	東福岡高校
19	3年	DF	小川 真輝	川崎U-18
20	1年	FW	梶原 豊	甲府U-18
21	2年	GK	青木 心	JFAアカデミー
22	3年	DF	長谷川 光基	FC東京U-18
23	3年	MF	白井 海斗	清水桜が丘高校
24	1年	DF	小林 夏生	横浜FM・Y
25	2年	DF	後藤 裕二	矢板中央高校
26	3年	MF	新関 成弥	清水Y
27	1年	MF	石川 拓磨	東京V・Y
28	1年	MF	林 勇大朗	大宮U18
29	1年	MF	坂本 琉維	堀越高校
30	1年	GK	廣濱 顕哉	千葉U-18
31	2年	DF	海老澤 諒	真岡高校
32	3年	MF	赤澤 蓮	宇都宮短期大学付属高校
33	3年	MF	長谷川 悠人	八千代松陰高校